

No. 2 8 3 7

三千石級の山を体感 乗鞍岳

実施日 2017年7月7日(金)～8日(土)

天候 晴れ

リーダー 中村 友子

参加者 涌井良明、石附智恵、渋谷賢寿、渋谷京子、中村友子、石原勝正、徳山敬子、渡辺悦子、阿部みゆき 計9名

費用 JR(新宿起算)12,752円 松本電鉄3,500円アルピコ交通2,500円 休暇村乗鞍高原11,050円

合計29,802円

タイム 7日 新宿(🕒7:00-9:39)松本(🕒10:10-10:40)新島々(🕒10:55-11:42)観光センター前より散策4時間(白樺の小径、口笛の径、二人の小径)休暇村着泊

8日 休暇村(🕒8:06-8:30)肩ノ小屋口(8:50~9:25)肩ノ小屋(9:35~10:10)蚕玉岳(10:30~10:50)剣ヶ峰(11:00~11:10)蚕玉岳(11:30~12:00)肩ノ小屋(12:10~12:50)コロナ観測所(12:50~1:20)乗鞍豊平(2:05~14:55)観光センター前(16:13~17:00)新島々(17:23~17:52)松本駅

7/7 連日九州地方に豪雨被害のニュースを目にする中両日天気恵まれ、梅雨の最中最高の二日間となった。

国民宿舎乗鞍高原の一つ前の観光センター前バ



ス停で降り昼食。その後散策道白樺の小径へと進んだ。取り口は少々探したがすぐに見つかり静かな道に大満足。誰にも会わず、森林浴をしながら、ワラビ



摘みに興じた。このワラビが後に酒の肴に大変身。あざ

み池にて大休止、そこで先ほどのワラビを茹で、川の水でさらし、ザックの中へ。バーナー、コップエルを持参してくれたS氏に感謝。

口笛の径に入り、牛留池の脇を通りふたりの小径から善五郎滝を見に寄る。



水量も多く一見あり。引き返し休暇村にチェックインするには時間があり過ぎるので、牛留池を一周する事になった。小さな池に映る乗鞍岳山頂はこれまた一見あり、廻って良かった。



休暇村のチェックイン後は先に茹で上げておいたワラビ

に当宿舎で買い求めたワサビドレッシングで和え最高の肴で一杯。夕食も美味、明日に備え(?)早めの就寝。

7/8 翌日、ゆっくり朝食を済ませ宿舎前よりシャトルバス乗車。

バス案内人言うのには7月1日から晴れたのは昨日7日と本日8日だけと



か、ラッキー。肩の小屋口で降り、まだ春スキーを楽しんでいる方々

を眺めつつ雪渓脇を30分ほど直登。

肩の小屋辺りには、ハクサンイチゲ等咲き始めていた。ここからは急登になりさ



らに2カ所の雪渓をトラバースし蚕玉岳に到着。紅茶タイムとした。



ここでもS氏のバーナーが大活躍。そこよりわずかな登りで山頂剣

ヶ峰に到着。

風が強いので早急に下り、蚕玉岳にて昼



食。更に肩の小屋迄下り大休止。頂上を見合わせたA氏と合流し畳平に向かう途中、摩利支天岳と地図に太字で記載されているので行ってみるもコロナ観測所で行き止まり、地図読み違いであった。同じ考えで登っ



て来る人もいたので何とかして欲しいと思った。しかし、そこから見る剣ヶ峰方

向は格別な眺めだった。

広々した歩道を畳平に向かって進み、近くになるとコマクサ、ハクサンイチゲ、キンポウゲ、等咲き始めていた。

ターミナル付近の花畑では未だ咲いていない。

先に到着していた同士と合流し観光センターまでシャ



トルバス、乗り換え時間を利用してせせらぎの湯にて汗を流した。新島々駅にてバス参加のW氏と別れ松本駅、解散とした。

当初、日の出を畳平でと計画を試みましたが、休暇村泊でゆっくり朝食を摂りたい、肩の小屋口より登りたい等で計画変更をいたしました。

今年は雪が多かったせいか花鑑賞には少し早かったかも知れません。しかしながら最高の天気の上雪渓歩きも楽しめました。

次回ゆっくり山行も楽しみましょう。

(記・中村 友子)
(写真提供・涌井 良明)

